

「えどがわの桜」1万5千本、始まりは篠崎堤

5.9km



篠崎堤の桜 日露戦争【明治37年(1904年)～明治38年(1905年)】の戦勝記念として、地元篠崎の人々によって植栽されたのが始まりで、数百本のソメイヨシノが桜のトンネルを作り、都内からの花見客を呼び込みました。昭和7年(1932年)に当時の報知新聞社が「新東京八名勝投票募集」を行い、「篠崎堤の桜」が選外十六景の八位に推薦されたことが、③の石碑に刻まれています。最初は堤防の下に建てられましたが、現在は篠田堀親水緑道に移されています。110年前の桜は江戸川の改修・大気汚染等で今はありませんが、江戸川区の桜15,000本の原点は篠崎堤です。



昭和20年代の花見船。後方が「篠崎堤の桜」



③「篠崎堤の桜」の碑



②現在の「篠崎堤の桜」



① 篠崎ポニーランドの「ポニー」
乗馬やえさやりが体験できます。
ニンジンあげに来てね! ☎03-3678-7520
※ポピーの開花は5月～7月



③ 篠田堀親水緑道
篠田堀の整備にあたっては、自然回復を目指し、川床に砂利を敷き、動植物の生息環境に配慮した構造としました。下流部では既存の古木桜並木を活かした整備を行い、毎年お花見の時期には多くの人で賑わっています。ソメイヨシノの見ごろは4月上旬～



④ 南篠崎児童遊園の桜
淡黄緑色のウコンや緑色の御衣黄(ぎょいこう)など様々な珍しい種類の桜が鑑賞できます。御衣黄の見ごろは4月下旬～



⑤ 瑞江駅西通り
桜のトンネルが、篠崎街道から江戸川の堤防まで続きます。ソメイヨシノの見ごろは4月上旬～